余熱利用し温水プール

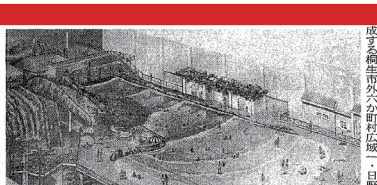
桐生広域振興組合 清掃センター敷地内に

桐生市周辺の七市町村で構成する桐生市外二か町村広域行政事務組合（理事長・田中茂桐生市長）は二日までに、一九九六年四月にオープンする新田村の桐生広域温水プール（仮称）を建設することを決めた。七日の同組合議会で可決されたい。年内にも工事をスタートする。

同プールは清掃センターの余熱利用で、建物は鉄筋コンクリート二階建てで、北側の「保養棟」と南側のプール棟」の二棟からなる。保養棟は地下に機械室、一階に管理事務室、待合ロビーのほか、来場者が利用できる浴室や地元住民の健康相談に応じる健康相談室等が設けられる。

プールは、長さ二五〇の流水プールや最大一〇〇・五メートルの流れるウォータースライダー、一二五の流水プールなど基本のプールが設置される。一般の自主ヨガやカリブ海の海岸をイメージした「遊泳（海い）」と利用できる施設にした。一年を通じて利用できる施設にしたい」と話している。

面積約五千四百平方。長さ、プールの周囲には人工芝を植える予定。同プール施設の管理は新里村が行う予定。同村は「営業時間や入場料、職員の配置などは着工後に関係者と協議するが、できるだけ料金を安くして、一年中楽しめる施設にしたい」としている。



桐生広域温水プール（仮称）にできる海体験プールの完成予想図

地方分権に活発意見

高崎でシンポ 体験踏まえ必要性説く

高崎地域地方分権推進シンポジウム（県主催）が二日、高崎市高松の高崎シティギャラリーで開かれ、地方の今後の方向性について、行政や民間などそれぞれの立場からの問題点などを出し合い意見交換をした。

シンポジウムは、地方分権の必要性を県民にアピールしようと開催。シンポジウムのパネリストは、松浦幸雄高崎市長、群馬理事長で元県環境局長の櫻井松郷氏ら六人が「地方分権とは」をテーマに基調講演、地域住民が積極的な活動を通じ展開するシンポジウムの進行役は、日本初のクラインガルテンの整備にかかわった近藤ミカ氏。

シンポジウムのパネリストは、松浦幸雄高崎市長、群馬理事長で元県環境局長の櫻井松郷氏ら六人が「地方分権とは」をテーマに基調講演、地域住民が積極的な活動を通じ展開するシンポジウムの進行役は、日本初のクラインガルテンの整備にかかわった近藤ミカ氏。

（市民農園）の開設にかかわった近藤ミカさん（個人の力ではなかなかあっても、多くの人の協力で従来の枠組みを越えられる、全国には難しいことがたくさんあった。市民農園を実現させた体験を披露した。

吉田さんは「地方分権が進み、身近な活動ができれば、ボランティアの活動も広がるのではないか」と、地域に根ざした体験談まとめて発言した。

地方の今後についての意見を交わした「高崎地域地方分権推進シンポジウム」

臨時列車に 6倍の応募

急行乗り入れ目指し 伊勢崎市が企画

伊勢崎市が募集していた臨時列車「東武急行ようもう1号ツアー」（十一月三日）の参加者が、九月末の締め切り約千九百人に上った。東武伊勢崎線の急行乗り入れ実現へ、初めての試みとして企画されたツアーだった。今年は八回に増やし、定員は三百人。同市は「東京方面への観光客や地元住民の関心が高い証拠」として、一人でも多くの参加を呼びかけている。

「ようもう号ツアー」は市民に急行の乗り入れを訴え、乗り入れ機運を高めるのが狙いという。伊勢崎駅への急行乗り入れは、現在の太田駅での乗り換えの不便が解消され、首都圏へのアクセス強化が図れると期待されている。

同市をはじめ伊勢崎市町村は、「東武伊勢崎線急行乗り入れ促進協議会」（解散）を六月に発足、「東武本社へのパンフレット配布」などの働きかけを行ってきた。

イベント列車は昨年、初めて実施。約千二百人の応募があった。今年もほぼ同じ内容で東京方面への誘客を中心に企画した。

私も一言 新総選挙

TEL 0272(54)9933
FAX 0272(52)5321
ご意見をお寄せ下さい

若者たち投票して

前橋市、元NHK前橋放送局、岡部健一さん＝写真＝やり政治家、やり経済、やれ消費税など論議されているが、もっと大切なことを忘れているようだ。それは、五十二年前の敗戦。全面降伏と二度と国は滅ぼすな、その後、中年層以上の努力と、ひたすら日に至ってきたことである。これから日本をどうするか、ということではないか。

選挙制度になって未来を託すにはどんな人が望ましいのか考えている。若者たちも政治に参加し、若い人が住みたくなる二十一世紀の群馬をつくっていこう。

「これからの日本」大事

若者と政治家の対話集会

群馬政経懇話会10月例会

◇日　時　10月3日（木）正午開会
◇会　場　マーキュリーホテル
◇演　題　「総選挙と政界再編のゆくえ」
◇講　師　共同通信社元政治部長　高橋　誠氏

女性の身元判明

安中の事故

安中市原市二丁目の国道18号で一日夜、運転を横断中にはねられた女性は、同市原市二丁目、無職、加藤晋久子さんとわかった。

テレクラ経営者に罰金10万円

高崎簡裁

テレホンクラブの設備を悪用したとして、売春防止法（勧誘等）違反罪に問われた高崎市下小鳥町、テレホンクラブ「電脳屋」の経営者、岸道昌被告人（三一）＝住所不定＝に対し、高崎簡裁（岡田誠一裁判官）は七日、女性の「休み時間に話をしただけ」という無理だ」などと主張、解雇予告手当の支払いを求めた訴えについて、「売春防止法違反罪に問われた事件で、高崎区検察庁が、岸被告人と女性従業員二人について起訴猶予とした、プールの周囲には人工芝を植える予定。同プール施設の管理は新里村が行う予定。同村は「営業時間や入場料、職員の配置などは着工後に関係者と協議するが、できるだけ料金を安くして、一年中楽しめる施設にしたい」としている。

牛乳絵画・はり絵作品コンクール

楽しい作品を募集！

▽応募資格　絵画は県内幼稚園、保育園、小、中、高校生、一般▽応募要項　絵画の部　画用紙（四つ切）に牛乳に関する絵を描く。はり絵の部　画用紙（四つ切）に牛乳の容器の使用した作品（はり絵の下紙は、ダンボールなどの厚紙を使用する）▽応募方法　作品に住所、氏名、電話番号、年齢（学年）、学校（園）名を明記して、〒371前橋市古市町1-50-21上毛新聞社事業局「牛乳絵画・はり絵作品コンクール」係へ送付。持参する▽締め切り　平成8年11月30日（土）必着▽賞　知事賞など合わせて特別賞と入選を選び、賞状、賞品を。参加者全員に参加賞を贈ります　＊入選作品は上毛新聞紙上で発表し、各人に通知します。▽展示会　平成9年1月29日（水）から2月3日（月）まで、いずれも伊勢崎市内▽主催　上毛新聞社、群馬県牛乳普及協会、群馬県牛乳販売農業協同組合連合会、群馬県学校給食会、群馬県教育委員会、群馬県酪農業協同組合連合会、県農業会議、県農業共済組合連合会、農林水産省関東農政局農業調査官、日本農業新聞、㈳全国牛乳普及協会

後援

本日の告別式

横井　ハナ殿（享年86歳）〈仮式〉
前橋市住吉町
葬儀10時30分～11時30分（前橋市斎場）
喪主　横井弘

長谷川　猪一郎殿（享年71歳）〈仮式〉
太田市由良
葬儀12時00分～1時00分（太田市斎場）
喪主　長谷川祐司

総合葬祭ホール　アート若宮
前橋市北代田町462
株式会社　ぐんかん
☎前橋(34)3451 ☎太田(31)9113

高速道情報

（3日）

▽関越道　【上り】渋川伊香保IC（前橋）通過＝午前8時00分、通行止め＝午前8時00分～午後5時00分、通行止め解除＝午後5時00分、通行止め＝午後5時00分～午後8時00分、通行止め解除＝午後8時00分、通行止め＝午後8時00分～午後11時00分、通行止め解除＝午後11時00分、通行止め＝午後11時00分～翌日午前8時00分、通行止め解除＝翌日午前8時00分、通行止め＝翌日午前8時00分～翌日午後5時00分、通行止め解除＝翌日午後5時00分、通行止め＝翌日午後5時00分～翌日午後8時00分、通行止め解除＝翌日午後8時00分、通行止め＝翌日午後8時00分～翌日午後11時00分、通行止め解除＝翌日午後11時00分、通行止め＝翌日